

## 分担研究報告書

研究題目 市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）  
に対する意見調査  
－意見調査計画の立案－

研究分担者 宮崎 美砂子（千葉大学大学院看護学研究院・教授）  
研究分担者 尾島 俊之（浜松医科大学医学部・教授）  
研究分担者 奥田 博子（保健医療科学院健康危機管理研究部・上席主任研究官）  
研究分担者 春山 早苗（自治医科大学看護学部・教授）  
研究分担者 雨宮 有子（千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科・准教授）  
研究分担者 吉川 悦子（日本赤十字看護大学看護学部・准教授）  
研究分担者 岩瀬 靖子（千葉大学大学院看護学研究院・講師）

### 研究要旨

本研究の目的は、本研究班で作成した「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）」に対して、市町村におけるマニュアル策定・見直し、活用の実際に役立つものとなるよう、充実させるべき内容を自治体の保健師を対象に意見聴取を行う。その結果に基づき、当ガイド（案）を精錬させて、実効可能性を高めるための、意見調査計画を立案することである。令和5年10月～12月に行われた研究班会議において、ガイド（案）に対する意見調査の対象者や方法を検討した。

意見調査の対象者は、マニュアルの策定・見直し、活用について、多角的に自治体の保健師から意見聴取を行うため、都道府県本庁、県型保健所、市町村に所属する統括的立場の保健師とし、調査対象者総数は20名程度とした。市町村は、マニュアル策定や見直し・活用にすでに取り組んでいる自治体だけでなく、策定ができておらず困難を感じている自治体、策定をしたものの見直しや活用ができていない自治体も含めることとした。調査方法は、インタビュー調査し、個別インタビュー、グループインタビューのいずれでもよいとした。調査実施時期は、倫理審査承認後から2024年3月までとした。調査内容は、1) 調査対象者の背景、2) 災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題として感じていること、3) ガイド（案）の構成及び内容について（分かりにくい表現や文言、マニュアルの策定や見直し・活用に対して、役に立ちそうか、マニュアルの策定や見直し・活用に対する関心の喚起、取組への動機づけになるか、マニュアルの策定や見直し・活用に対して行動を促すことができそうか（行動に移すことが難しい点は何か）、良いと思った内容、加えると良いと思う内容、修正が必要と思う内容）、4) その他（災害時保健活動の推進に対する意見など）とした。

### （研究協力者）

草野 富美子（広島市東区厚生部・部長（事）地域支えあい課長 広島市東福祉事務所長）  
相馬 幸恵（新潟県三条地域振興局健康福祉環境部地域保健課・参事（地域保健課長））  
築場 玲子（仙台保健福祉事務所・塩釜保健所地域保健福祉部・技術副参事兼総括技術次長）  
立石 清一郎（産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター・教授）  
五十嵐 侑（産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター・助教）  
井口 紗織（千葉大学運営基盤機構・特任助教）  
花井 詠子（千葉大学大学院看護学研究科博士後期課程・大学院生）

## A. 研究目的

本研究の目的は、本研究班で作成した「自治体における災害時保健活動マニュアル」(以下、マニュアル)の策定及び活用のガイド(案)に対して、市町村におけるマニュアル策定・見直し、活用の実際に役立つものとなるよう、充実させるべき内容を自治体の保健師を対象に意見聴取を行う。その結果に基づき、当ガイド(案)を精練させて、実効可能性を高めるための、意見調査計画を立案することである。

## B. 研究方法

### 1. 時期

令和5年10月～12月

### 2. 方法

ガイド(案)に対する意見調査について、本研究班会議で調査の対象者や方法を検討した。

## C. 研究結果

### 1. 調査対象者(資料1-1、1-2)

研究班会議による協議の結果、意見調査の対象者の選定基準は以下の通りとした。

マニュアルの策定・見直し、活用について、多角的に自治体の保健師から意見聴取を行うため、以下の1)～3)のそれぞれを対象とした。調査対象者の総数は20名程度。

1) 市町村の統括等の保健師(災害対応に中心にかかわる保健師)

市町村の選定基準は以下のa～bのいずれか。

a. マニュアルの策定に対して、取組の契機がつかめずいたり、困難を感じていたりする市町村

b. マニュアルを策定したものの、その後、見直しや活用ができていない市町村

c. マニュアルを策定し、見直しをしながら、その活用に取り組んでいる市町村

2) 市町村のマニュアル策定や見直し・活用に対して、市町村への協力や助言の在り方について考えたいと思っている県

型保健所の保健師

3) 都道府県の本庁の統括保健師

## 2. 調査方法

インタビュー調査。協力の得られた調査対象者に対して、個別インタビュー、グループインタビューのいずれでもよい、またWEBでも対面でもよいとした。

## 3. 調査時期

倫理審査承認後から2024年3月まで

## 4. 調査項目(資料2-1、2-2)

### 1) 調査対象者の背景

所属機関の種別、職位、災害対応としてかかわっている内容

2) 災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題として感じていること

3) ガイド(案)の構成及び内容について

① 分かりにくい表現や文言

② マニュアルの策定や見直し・活用に対して、役に立ちそうか

③ マニュアルの策定や見直し・活用に対する関心の喚起、取組への動機づけになるか

④ マニュアルの策定や見直し・活用に対して行動を促すことができそうか(行動に移すことが難しい点は何か)

⑤ 良いと思った内容

⑥ 加えると良いと思う内容

⑦ 修正が必要と思う内容

### 4) その他

災害時保健活動の推進に対する意見など

## D. 考察

本調査計画において、調査対象者は、都道府県本庁、県型保健所、市町村に所属する統括的立場の保健師とし、市町村は、マニュアル策定や見直し・活用にすでに取り組んでいる自治体だけでなく、

策定ができておらず困難を感じている自治体、策定をしたものの見直しや活用ができていない自治体も含めることとした。これは、マニュアルの策定・見直し、活用について、多角的に自治体の保健師から意見聴取を行うためであり、多様な立場から意見を聴取することで、本ガイドの実用性を高めることになると考える。このようなねらいをもって、調査計画を実行していく必要がある。

#### E. 結論

本研究の目的は、本研究班で作成した「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）」に対して、市町村におけるマニュアル策定・見直し、活用の実際に役立つものとなるよう、充実させるべき内容を自治体の保健師を対象に意見聴取を行う。その結果に基づき、当ガイド（案）を精練させて、実効可能性を高めるための、意見調査計画を立案することである。令和5年10月～12月に行われた研究会議において、ガイド（案）に対する意見調査の対象者や方法を検討した。

意見調査の対象者は、マニュアルの策定・見直し、活用について、多角的に自治体の保健師から意見聴取を行うため、都道府県本庁、県型保健所、市町村に所属する統括的立場の保健師とし、調査対象者総数は20名程度とした。市町村は、マニュアル策定や見直し・活用にすでに取り組んでいる自治体だけでなく、策定ができておらず困難を感じている自治体、策定をしたものの見直しや活用ができていない自治体も含めることとした。調査方法は、インタビュー調査し、個別インタビュー、グループインタビューのいずれでもよいとした。調査実施時期は、倫理審査承認後から2024年3月までとした。調査内容は、1) 調査対象者の背景、2) 災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題として感じていること、3) ガイド（案）の構成及び内

容について、4) その他（災害時保健活動の推進に対する意見など）とした。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

#### H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## 資料 1—1 (所属長様宛の依頼文書)

令和〇年〇月〇日

〇〇県〇〇部〇〇課長  
(〇〇県〇〇保健所長)  
(〇〇市町村〇〇部〇〇課長) 〇〇 〇〇様

(研究代表者) 千葉大学大学院看護学研究院 教授  
宮崎 美砂子

自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド (案) に対する  
意見調査への協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さてこのたび令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究 (研究代表者宮崎美砂子) (22LA1006)」の一環として、標記調査を下記のように計画しております。ご多忙の折、誠に恐縮ですが、貴所属の保健師様に、本研究班がこのたび作成した自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のガイド (案) について、災害対応に中心的一かかわっておられる保健師様にご意見等を伺いたく、本調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

【調査目的】災害時保健活動マニュアルは災害時の活動推進を図るうえで必要と考えられますが、その策定・見直し、活用を図ることは容易なことではありません。このたび本研究班では、市町村におけるマニュアルの策定・見直し、活用を進めるうえで役立つ「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド (案)」を作成しました。本調査の目的は、ガイド (案) の実効可能性を高めるために、市町村、県型保健所、都道府県本庁のそれぞれのお立場から保健師様にご意見をうかがい、ガイド精練のための資料を得ることです。

【依頼事項】調査対象者として、貴自治体において災害対応時に統括等のお立場から、災害対応に中心的一かかわっておられる保健師様に個別またはグループによるインタビューのご協力をお願い申し上げます。

【調査時期・時間】令和 6 年 2 月のいずれか業務に支障のない 1 日のうち、60 分程度。

【調査方法】インタビュー調査に先立ち、ガイドライン (案) をお送りします。ガイドライン (案) は本編 10 頁、資料編 10 頁程度で、事前に目を通して頂きたいとお願いいたします。目を通していただくのに必要な時間は 15 分程度です。インタビューの日時などの具体的な方法は公務に支障のないよう、ご相談のうえ決定いたします。なおオンラインインタビューにあたりモバイル Wi-Fi ルーターが必要な場合、研究班で準備いたします。

### 【調査内容】

- 1) 背景：所属機関の種別、職位、災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題に思っていること
- 2) ガイド (案) の構成及び内容に対する意見

### 【倫理的配慮】

調査にあたっては文書及び口頭により、趣旨を説明のうえ、調査協力の同意を得て行います。入手した回答は本研究以外の目的に使用することはありません。調査結果は、厚生労働省への報告書及び学会発表での公表を予定しておりますが、回答結果は全て集計により扱い、個人名、自治体名・機関名が特定されることはありません。調査実施後に調査協力の辞退をお申し出頂くことも可能です。本調査につきまして、ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さいませようお願いいたします。なお、本調査は千葉大学大学院看護学研究院倫理審査委員会の承認を得ております。(承認番号：NR5-86)

《連絡先》 (研究代表者) 宮崎美砂子 Email : miyamisa@faculty.chiba-u.jp  
千葉大学大学院看護学研究院 地域創成看護学講座  
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL&FAX : 043-226-2435

## 資料 1-2 (調査対象候補者様宛の依頼文書)

令和〇年〇月〇日

〇〇県〇〇部〇〇課長  
(〇〇県〇〇保健所長)  
(〇〇市町村〇〇部〇〇課長) 統括等保健師様

(研究代表者) 千葉大学大学院看護学研究院 教授  
宮崎 美砂子

自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド (案) に対する  
意見調査への協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さてこのたび令和 5 年度厚生労働科学研究費補助金 (健康安全・危機管理対策総合研究事業) 「自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活動推進のための研究 (研究代表者宮崎美砂子) (22LA1006)」の一環として、標記調査を下記のように計画しております。ご多忙の折、誠に恐縮ですが、貴所属の保健師様に、本研究班がこのたび作成した自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のガイド (案) について、災害対応に中心にかかわっておられる保健師様にご意見等を伺いたく、本調査へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

【調査目的】災害時保健活動マニュアルは災害時の活動推進を図るうえで必要と考えられますが、その策定・見直し、活用を図ることは容易なことではありません。このたび本研究班では、市町村におけるマニュアルの策定・見直し、活用を進めるうえで役立つ「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド (案)」を作成しました。本調査の目的は、ガイド (案) の実効可能性を高めるために、市町村、県型保健所、都道府県本庁のそれぞれのお立場から保健師様にご意見をうかがい、ガイド精練のための資料を得ることです。

【調査時期・時間】令和 6 年 2 月のいずれか業務に支障のない 1 日のうち、60 分程度。

【調査方法】意見調査は、オンラインによる個別またはグループインタビューにて行うことを予定しております。インタビュー調査に先立ち、ガイドライン (案) をお送りします。ガイドライン (案) は本編 10 頁、資料編 10 頁程度で、事前に目を通して頂きたくお願いいたします。目を通していただくのに必要な時間は 15 分程度です。インタビューの日時などの具体的な方法は公務に支障のないよう、ご相談のうえ決定いたします。なおオンラインインタビューにあたりモバイル Wi-Fi ルーターが必要な場合、研究班で準備いたします。

### 【調査内容】

- 1) 背景情報：所属機関の種別、職位、災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題に思っていること
- 2) ガイド (案) の構成及び内容に対する意見

### 【倫理的配慮】

調査にあたっては文書及び口頭により、趣旨を説明のうえ、調査協力の同意を得て行います。入手した回答は本研究以外の目的に使用することはありません。調査結果は、厚生労働省への報告書及び学会発表での公表を予定しておりますが、回答結果は全て集計により扱い、個人名、自治体名・機関名が特定されることはありません。調査実施後に調査協力の辞退をお申し出頂くことも可能です。本調査につきまして、ご不明な点がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さいますようお願いいたします。なお、本調査は千葉大学大学院看護学研究院倫理審査委員会の承認を得ております。(承認番号：NR5-86)

《連絡先》 (研究代表者) 宮崎美砂子 Email : miyamisa@faculty.chiba-u.jp  
千葉大学大学院看護学研究院 地域創成看護学講座  
〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1 TEL&FAX : 043-226-2435

## 資料2—1

### インタビューガイド

研究題目：自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）に対する意見調査

以下の項目について、お話をうかがいます。これらの項目を記載した「質問への事前回答シート」に可能な範囲で結構ですのでご記入いただき、当日はそれらの内容を確認しながらお話をうかがいたいと思います。

.....

質問1. あなたのお立場について教えてください

所属機関の種別、あなたの職位、統括保健師のお立場の有無、災害対応としてかかわっている業務内容

質問2. 市町村における災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題について

2-1：市町村（保健所設置市を含む）の保健師様への質問：所属市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について教えてください

2-2：県型保健所の保健師様への質問：管内の市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について把握していることや感じておられることを教えてください

2-3：都道府県本庁の保健師様への質問：都道府県内の市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について把握していることや感じておられることを教えてください

質問3. 研究班が作成した「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）」をご覧になって、以下の点についてご意見をお聞かせ下さい。

- ① 分かりにくい表現や文言
- ② 市町村における災害時保健活動マニュアルの策定や見直し・活用に対して、役に立ちそうか？
- ③ 市町村におけるマニュアルの策定や見直し・活用に対する関心の喚起、取組への動機づけになるか？
- ④ 市町村におけるマニュアルの策定や見直し・活用に対して行動を促すことができそうか（行動に移すことの促しが難しいと思われる点は何か）？
- ⑤ 良いと思った内容
- ⑥ 加えると良いと思う内容
- ⑦ 修正が必要と思う内容

質問4. その他、災害時保健活動の推進に対するご意見をお聞かせください。

ありがとうございました。

## 資料2—2

### 質問への事前回答シート

研究題目：自治体における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）に対する意見調査

質問1．あなたのお立場について教えてください

所属機関の種別（保健所設置市、その他の市町村、県型保健所、都道府県本庁）

あなたの職位

統括保健師のお立場の有無

災害対応としてかかわっている業務内容

質問2．市町村における災害時保健活動マニュアルの策定・見直し、活用の状況と課題について

2－1：市町村（保健所設置市を含む）の保健師様への質問：所属市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について教えてください

2－2：県型保健所の保健師様への質問：管内の市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について把握していることや感じておられることを教えてください

2－3：都道府県本庁の保健師様への質問：都道府県内の市町村の災害時保健活動マニュアルの策定、見直し、活用の現況と課題について把握していることや感じておられることを教えてください

質問3．研究班が作成した「市町村における災害時保健活動マニュアルの策定及び活用のためのガイド（案）」をご覧になって、以下の点についてご意見をお聞かせ下さい。

① 分かりにくい表現や文言

- ② 市町村における災害時保健活動マニュアルの策定や見直し・活用に対して、役に立ちそうか？
  
- ③ 市町村におけるマニュアルの策定や見直し・活用に対する関心の喚起、取組への動機づけになるか？
  
- ④ 市町村におけるマニュアルの策定や見直し・活用に対して行動を促すことができそうか（行動に移すことの促しが難しいと思われる点は何か）？
  
- ⑤ 良いと思った内容
  
- ⑥ 加えると良いと思う内容
  
- ⑦ 修正が必要と思う内容

質問4. その他、災害時保健活動の推進に対するご意見をお聞かせください。

ありがとうございました。